

# 患者さんと医療・介護従事者とが作るパートナーシップ

社会医療法人 一成会

よりよい医療・介護を実現するためには、数々の条件が必要です。医療・介護従事者がさまざまな努力をするべきことは言うまでもありません。そして、患者さんと医療・介護従事者がパートナーとして、対等な立場で疾病と向かい合うために、患者さん自身にも、医療・介護の場において果たすべき役割があるのではないのでしょうか。そこで、そのことを前提として、それぞれが果たす役割はどのようなものであるべきか考え、以下のようにまとめました。

## 1. 患者さんと医療・介護従事者とが作るパートナーシップ

一成会は、よりよい医療・介護を実現するためには、患者さんと医療・介護従事者が、より対等に近い立場で相互に信頼しあい、果たすべきそれぞれの役割をきちんと果たすことが重要であると考えます。それが、一成会が考える、「患者と医療・介護従事者とが作るパートナーシップ」です。

## 2. 患者の権利

一成会は、当法人の医療・介護において、患者さんは以下の権利を有すると思えます。この患者さんの権利を守ることは、私たち医療・介護従事者の役割です。

- ① 自分の病状やけがの状態について知る権利
- ② 自分の病気やけがについての治療・介護方法を知る権利
- ③ 自分の病気やけがの治療・介護方法を選択する権利
- ④ 医療・介護者を選択する権利

## 3. 患者さんの役割

その上で、医療・介護をよりよいものにするために、患者さんは、医療・介護のパートナーとして次に挙げる役割を果たして下さるようお願い致します。

- ① 医療・介護に必要な情報を、できる限り正確に伝えてください
- ② 患者さん自身の病状を、より正確に理解してください
- ③ 医師やスタッフの助けを得ながら、患者さん自身が、医療・介護についての方針を自己決定してください

作成 2008年 2月  
改訂 2015年 10月